

抗菌薬適正使用について 2022. 4. 1

抗菌薬は細菌・真菌などに対して効果があり、ウイルス感染症には効果がありません。当院では細菌・真菌の感染症と医師が判断し、かつ抗菌薬を使用する必要があるとした場合のみ処方します。

ウイルス性の感染症に対しては、発熱、咽頭痛などの対症療法が中心となり、免疫力を高めるためには、十分な栄養や水分をとり休養が重要となります。

インフルエンザ 新型コロナ感染症などで、感染後免疫が落ちている状態では、細菌感染を起こしやすくなりこの場合には抗菌剤が必要となります。